

第23回 電気システムセキュリティ特別技術委員会
議事録

日 時 : 平成30年 10月 9日 (火) 15時00分～17時00分

場 所 : ルーテル市ヶ谷センター 第1会議室

出席者 : 栗原委員長, 高橋様 (A 部門長 西川委員代理), 徳田委員 (A 部門代表), 前中委員 (E 部門長),
瀬戸委員 (2号委員), 奥村委員 (2号委員),
桂幹事, 大澤 (オブザーバ) (敬称略), 以上8名

配付資料

- 資料23-0 第23回 電気システムセキュリティ特別技術委員会 議事次第
- 資料23-1 第22回 電気システムセキュリティ特別技術委員会 議事録 (案)
- 資料23-2 電気システムセキュリティ特別技術委員会 委員名簿
- 資料23-3-1 「Cyber Physical Systems Security 特別調査専門委員会」活動報告
- 資料23-4-0 電気システムセキュリティ特別技術委員会 ホームページ
- 資料23-4-1 「IoT時代の電磁セキュリティ」 ホームページ
- 資料23-4-2 「安全・安心の電気エネルギーセキュリティ特別調査専門委員会」 ホームページ
- 資料23-5-1 「自律走行システムにおける電磁的セキュリティ特別調査専門委員会 (仮題)」
設立趣意書 (素案)
- 資料23-6 平成31年電気学会全国大会開催概要
- 資料23-7 電気システムセキュリティ特別技術委員会関連進捗状況

議事概要

1 開会挨拶

栗原委員長より, 開会にあたり挨拶があった。また, 出席委員の自己紹介を行った。

2 前回議事録の確認

資料23-1に基づき, 平成30年 3月14日に開催された第22回委員会の議事録 (案) について
確認を行い, 一部修正の上, 承認された。

3 特別調査専門委員会からの報告

3-1 「Cyber Physical Systems Security 特別調査専門委員会」(桂幹事 (芹澤委員代理))

資料23-3-1に基づき, 4月27日に行われた第8回委員会, 7月19日に行われた第9回委員会に
ついて報告があった。また, 9月5日に行われたC部門大会での企画セッションにて成果の纏めを行った。
解散報告書について説明があり, 承認された。

4 成果の取り纏めに関する報告

4-1 「スマートグリッドにおける電磁的セキュリティ特別調査専門委員会」(瀬戸委員)

資料23-4-1に基づき, 技術報告単行本について, タイトルは「IoT時代の電磁セキュリティ」と
して, 4月末に出版されたことが報告された。
電気学会誌10月号にも特集企画を行った。

4-2 「安全・安心の電気エネルギーセキュリティ特別調査専門委員会」(桂幹事 (餘利野委員代理))

資料23-4-2に基づき, 技術報告 (に準じるもの) の編集が終わり, ホームページで公開を行って
いる。メールマガジンで周知頂きたいとの依頼があり, 承認された。

(栗原委員長)「災害対応：レジリエンス」について、まだ議論し尽くされていない部分があるのではないかと。先日の北海道地震でのブラックアウトの対応も含め、災害に伴う対応など、引き続き検討が必要であろう。

(徳田委員)第2期で検討すべきテーマとして、エネルギーバリューチェーンの中で損害賠償、計画停電の運用方針などもブラックアウト対応などを含めた形で検討頂くのが良いのではないかと。

4-3 「スマートグリッドのスマートファシリティ内における EMC 環境」(奥村委員)
技術報告の編集が終わり、学会事務局に提出を行った。

4-4 「社会インフラ用センサシステムセキュリティ特別調査専門委員会」(前中委員)
解散報告書について、メール審議を行うこととした。

5 第2期で検討すべきテーマについて

5-1 自律走行システムにおける電磁的セキュリティについて(瀬戸委員)

資料23-5-1に基づき、瀬戸委員より「自律走行システムにおける電磁的セキュリティ特別調査専門委員会(仮)」の設置趣意書の説明があった。扱うべきテーマが広く、相談をしながら進めていく必要があるため、副委員長を新たに設置したい。また、ご助言を頂く方に顧問として就任をお願いしたい。

(栗原委員長)自動車会社を含めて委員を集めて頂くなど、検討内容について期待をしている。

(徳田委員)他部門の委員に加わって頂くのが良いだろう。

(栗原委員長)C部門の情報セキュリティやD部門の自動車関連の方は候補になるのではないだろうか。E部門も可能であればお願いしたい。

(前中委員)E部門内でも周知していきたい。

(栗原委員長)成果は技術報告として纏めて頂くのか。

(奥村委員)電気学会誌の特集は主体が異なるので、別の形態にするのが良いのではないかと。

(瀬戸委員)「この委員会の調査結果は具体的には次を予定している。(1)全国大会シンポジウムにおける発表、(2)単行本として刊行」とする。

(栗原委員長)「UAV」を「ドローン」にして頂くと分かりやすいのではないかと。

(栗原委員長)運営要綱には副委員長、顧問について記載がないが、新たに設置することについてメール審議を行うこととしたい。

5-2 Society 5.0におけるエネルギーバリューチェーンセキュリティ(栗原委員長)

(栗原委員長)横浜国立大学の大山先生に打診をしているが、事前調整に時間が掛かるとの報告を受けている。事前打ち合わせの状況を桂幹事より確認する。

5-3 Society 5.0におけるサイバーフィジカルセキュリティ(栗原委員長)

(栗原委員長)芹澤委員、泉井委員より半年程度準備期間がかかるとの報告を受けている。

- 6 全国大会シンポジウムへの対応について（10月17日締切）
栗原委員長より、今年度はシンポジウム提案を見送ることが報告された。
- 7 その他
資料23-2-1に基づいて、名簿の確認を行った。修正がある場合には幹事まで連絡頂きたい。

以上